

石坂産業の くぬぎの森 環境塾

- 自然を五感で学べる環境学習 -

「おもてなし企業・全国 50 選」 選出企業による 埼玉県で唯一「体験の機会のある場」 認証プログラム

昔から人と自然との調和によって守られた豊かな環境を持続させる活動の
紹介や、五感を使って「くぬぎの森の散歩コース」を体験することで、
生物多様性(生き物と環境との関わり)を学び、自然と社会の調和を考え、
自然環境の大切さを知ってもらえるようなプログラムを提供しています。

産業廃棄物処理のトップリーダー

【資源循環 100%】を目指す - 全天候型独立総合リサイクルプラント -
国際 ISO 5 統合マネジメント運用 14001 9001 18001 27001 50001

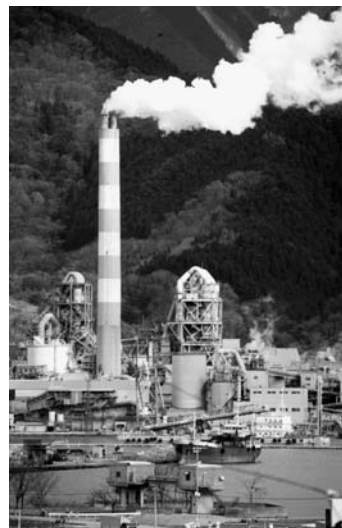
石坂産業株式会社
〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富塚 1589-2
Tel. 049-259-1177 Fax. 049-259-0687
Mail. info@ishizaka-group.co.jp

持続発展に向けた教育、社会貢献に取組んでいます インターネットで検索 石坂産業

生物多様性「JHEP」 最高ランク AAA 取得



廃棄物処理



循環型機能大いに貢献

あるセメント協会(東京都中央区)の高橋茂生(たかはし しげる)環境部門統括リーダーは、セメント生産に当たっての廃棄物・副産物使用を、実績のあるセメント産業が果たす役割は大

可燃混合や不燃物の処理を、八戸工場では各種廃棄物を受け入れた。被災地の岩手県では太平洋セメントの大船渡工場(大船渡市、三菱マテリアルの岩手工場)で、セメントの生産に当たっての廃棄物・副産物使用を、実績のあるセメント産業が果たす役割は大

セメントが支える

被災地の復興・復興に対する協力を重要課題と位置づけ取り組んでいる。セメント協会の矢尾宏会長(三菱マテリアル社長)は2013年の年頭に、こう力を込めた。積極的に取り組んだのがセメントの安定供給とがけきの受け入れだ。

被災地から排出された木くずの処理を行った。青森県では三菱マテリアルの八戸工場(八戸市)の八戸工場(同)の2工場処理、青森工場では

岩手県、宮城県、福島県における災害廃棄物などの処理の進捗状況（2013年5月末現在）										
	災害 廃棄物 などの 推計量 (万 ³ ト)	災害廃棄物				津波堆積物				仮置き場 設置数
		推計量 (万 ³ ト)	処理			推計量 (万 ³ ト)	処理			
			量 (万 ³ ト)	割合 (%)	2013年 9月末 時点(%)		量 (万 ³ ト)	割合 (%)	2013年 9月末 時点(%)	
岩手県	525	380	218 (199)	57 (52)	78	145	36 (28)	25 (19)	56	48
宮城県	1733	1046	791 (737)	76 (71)	87	688	366 (333)	53 (48)	76	73
福島県 ※1	357	173	80 (73)	47 (42)	—	184	17 (16)	9 (9)	—	33
合計	2616	1598	1089 (1010)	68 (63)	—	1018	419 (377)	41 (37)	—	154

※1 福島県の汚染廃棄物対策地域(国直轄処理地域)を除く
※2 ()内は2013年4月末の数値

膨大な災害廃棄物が生じた結果、被災地の施設だけでは処理が追いつかない状況にある。また、最終処理の容量も不足している。このため、処理が困難な災害廃棄物の処理を被災地以外の自治体で受け入れられている。13年6月21日時点で実施済み、実施中、受け入れ量決定済みを含めると、1都1府15県79件での処理が決定した。さらに本格的な受け入れを表明した自治体を含めると、受け入れ見込み量は約62万ト、処理済み量は約37万トとなっている。

東日本大震災により、膨大な災害廃棄物が生じた結果、被災地の施設だけでは処理が追いつかない状況にある。また、最終処理の容量も不足している。このため、処理が困難な災害廃棄物の処理を被災地以外の自治体で受け入れられている。13年6月21日時点で実施済み、実施中、受け入れ量決定済みを含めると、1都1府15県79件での処理が決定した。さらに本格的な受け入れを表明した自治体を含めると、受け入れ見込み量は約62万ト、処理済み量は約37万トとなっている。

自治体受け入れ99万ト
環境省が5月7日に発表した東日本大震災に伴う災害廃棄物の処理状況(13道県245市町村)に拠る。14年3月末時点では154カ所と半分以下にまで減少している。災害廃棄物の仮置き場の搬入率は94%で、11市町村で搬入が完了した。

3県内には仮設焼却炉が34基、破碎・選別施設が代行政理事業を実施している。福島県では、気仙沼ブロックの気仙沼処理場に一部設置が完了した津波堆積物処理ラインを6月に本格稼働。福島県では、いわき市で6月から民間の焼却炉で1日当たり17トの可燃物の受け入れを始めた。

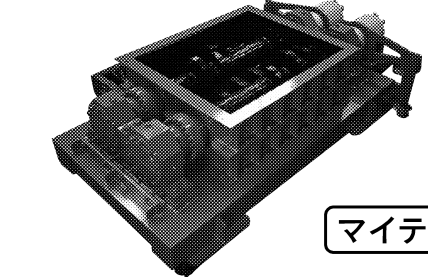


13年5月以降、新たにいくつかの自治体で受け入れが始まった。山形県米沢市の民間施設で、岩手県山田町の不燃混合物を同年12月までに約1万5000トを受け入れた。富山県の新川広域圏事務組合と富山地区広域圏事務組合で、岩手県山田町の可燃物の受け入れを開始。同年12月までに高岡市を加えた富山県と、約3900トを処理した。

環境装置・廃棄物処理システム 固形燃料(RPF)製造プラント

二軸破砕機

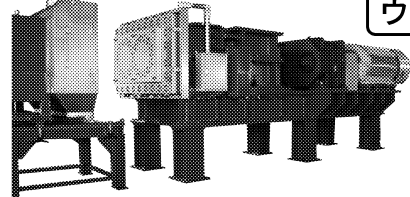
可燃性の粗大ゴミを効率よく粗破砕する装置。
破砕刃付きのカートリッジ式シャフト2本が正転・逆転しながら200ミリ〜300ミリ角前後のサイズに効率よく破砕。破砕ローターは低速回転で運転する為、振動、騒音が少なく、設置場所の選定が容易。



マイテイクラッシャー

熱圧縮成形機

プラスチックに紙屑、木屑等を混合した可燃性物質を比重1前後のソーセージ型の固形燃料(RPF)にします。保管場所及び運搬コストを大幅に削減することが出来ます。



ウエストポーター

1. スクリューは六角スクリュー軸に差込方式且つ分割式の為、メンテナンスが容易です。
2. センサー管理の安全タイプ。
3. ノズルを用途に応じてセットし、直径25〜150mmの固形燃料(RPF)が出来ます。

大型機械加工・大型製品

最新鋭大型CNC五面マシニングセンター、橋中ぐりフライス盤にて
大型機械加工品及び大型製品(最大60トン) 請負います!

大型五面加工機
MPC-3680B/東芝機械マシナリー製
門高: 3,500mm 門幅: 3,600mm
テーブル: 3,100×8,000mm
最大積載質量: 40,000kg

CNC橋中ぐりフライス盤
KBT-15B-A/倉敷機械製
加工高さ: 2,300mm
テーブル: 2,000×2,200mm
最大積載質量: 20,000kg

複合加工機
MULTUSB300/オークマ製
最大加工径: φ630×L900mm
他、NC旋盤(最大加工径: φ950×4000L)、門型マシニングセンター



営業品目

(特許多数)

RPF製造プラント、地方自治体及び産業廃棄物関連施設のリサイクルプラント、ピン、缶リサイクルプラント
・一軸模型破砕機「ロータリーハンマー」・一軸破砕機「バイトローター」・廃プラスチック回収システム「比重選別機」



●製造・発売元

株式会社 タジリ

優秀経営者顕彰地域社会貢献者賞受賞、埼玉産業人クラブ西海記念賞受賞
〒369-1108 埼玉県深谷市田中357-1
TEL 048-583-3525(代) FAX 048-583-3527
URL http://www.tajiri.co.jp E-mail info@tajiri.co.jp

!? 地球環境クイズ !?

Q22

デンマークのコペンハーゲン市が2016年に
完成を予定している未来型ゴミ処理発電施設は、屋上にあるスポーツの施設を併設する
そうですが、そのスポーツは何でしょう?

- ① スキー ② スケート
③ サッカー

Q23

医療廃棄物や有害廃棄物などが先進国から発展途上国に持ち込まれたり、途上国の
環境汚染や健康被害を招いたりすることを防ぐための国際条約には、スイスのある
都市の名前がついていますが、何条約でしょう?

岩手・宮城、来春にも完了

災害廃棄物 処理

自治体受け入れ99万ト

東日本大震災の発生から2年4カ月が経過したが、現在も災害廃棄物の処理が行われている。発生した災害廃棄物196万5千トのうち、2013年3月末時点で約61%の処理が完了した。被害が大きかった岩手県、宮城県、福島県では、2014年3月末までに災害廃棄物の処理を終了する計画を立てている。ただ、福島県では一部で計画より処理が遅れて達成が困難な状況のため、今夏をめどに計画を見直す方針だ。

3県内には仮設焼却炉が34基、破碎・選別施設が代行政理事業を実施している。福島県では、気仙沼ブロックの気仙沼処理場に一部設置が完了した津波堆積物処理ラインを6月に本格稼働。福島県では、いわき市で6月から民間の焼却炉で1日当たり17トの可燃物の受け入れを始めた。



13年5月以降、新たにいくつかの自治体で受け入れが始まった。山形県米沢市の民間施設で、岩手県山田町の不燃混合物を同年12月までに約1万5000トを受け入れた。富山県の新川広域圏事務組合と富山地区広域圏事務組合で、岩手県山田町の可燃物の受け入れを開始。同年12月までに高岡市を加えた富山県と、約3900トを処理した。

プランテックの焼却炉はここが違う!

独自開発の超低空気比燃焼技術(SLA燃焼方式※1)の優れた特長

ボイラ発電に最適

SLA燃焼方式により得られた燃焼ガスは、ガス温度・ガス量共に安定し、飛灰量1/10のクリーンな排ガスです。

省エネプラント

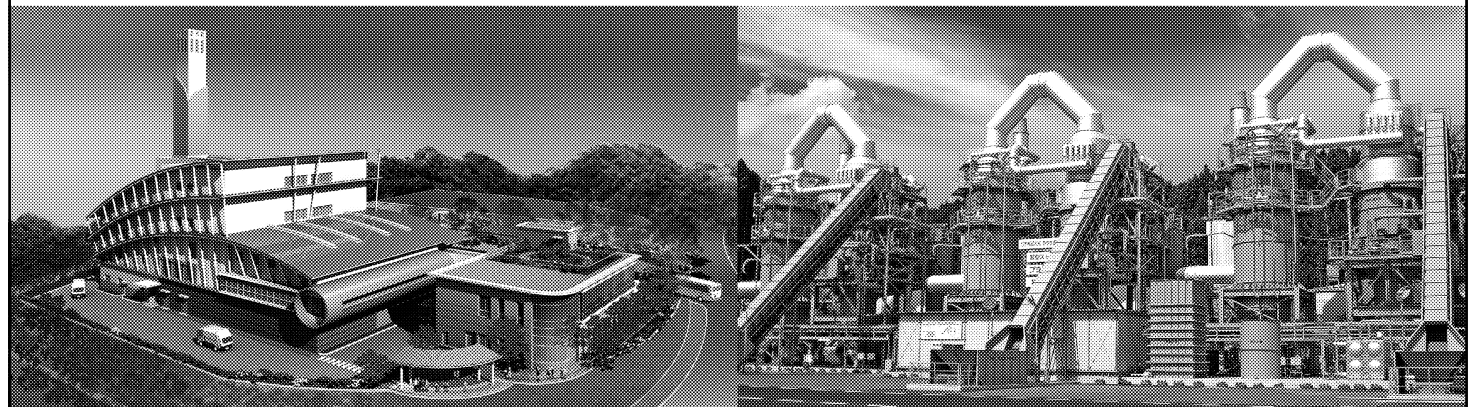
消費電力・薬品量を低減でき、補助燃料も使用しません。

処理物を選ばない

同一形式の炉で、国内の一般廃棄物・産業廃棄物や世界各国の廃棄物に対応できます。

次世代プラント

20年、30年先の廃棄物の変化を見越した最新技術です。



災害廃棄物焼却処理施設を高性能で運転しています。

- 1日の処理量約300トンの施設が故障停止なく稼働中です。 ●補助燃料を使用せず未燃分は1/1000以下(※2)。
- 排ガス中のダイオキシン類濃度は法規制値の約1/100(※3)という高性能です。

※1: SLA(=Super Low Air-ratio)燃焼とは、一次燃焼空気を通常の約1/4まで低減して廃棄物を抑制燃焼した後、充分な量の二次燃焼空気を供給して未燃ガスを完全燃焼(二段燃焼)することにより、幅広い廃棄物の安定燃焼を可能とした独自開発技術です。
※2、※3: 実測データによる。

株式会社 プランテック
よりよい環境を創造するエンジニアリング会社

大阪本社(代表): TEL 06-6448-2200 FAX 06-6448-2250 E-mail: info@plantec-kk.co.jp www.plantec-kk.co.jp